

欧州景気概況(2023年7月)

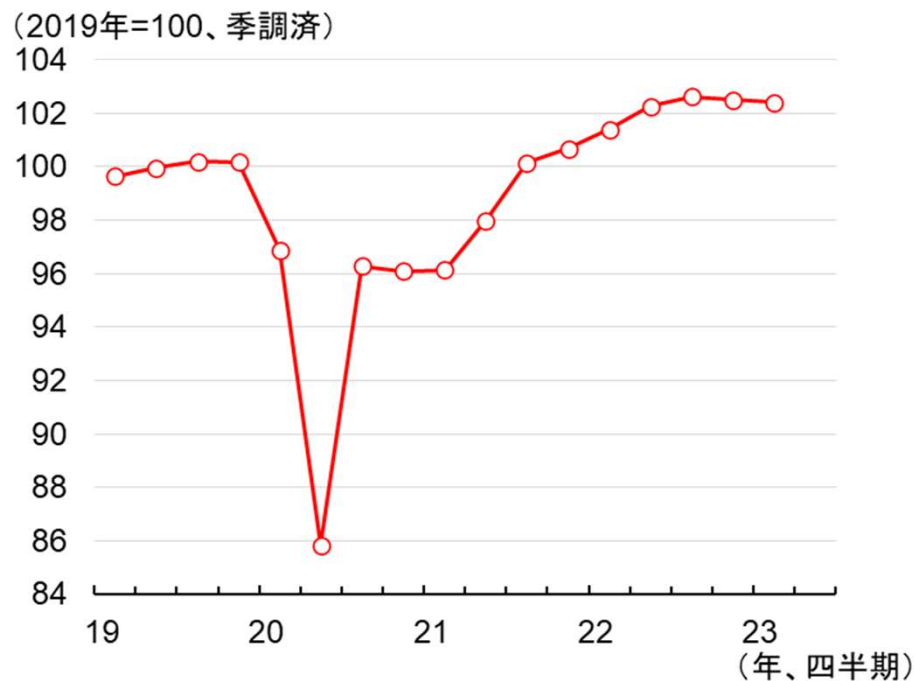
2023年7月5日

調査部 副主任研究員 土田陽介

ユーロ圏景気概況① 景気は後退している

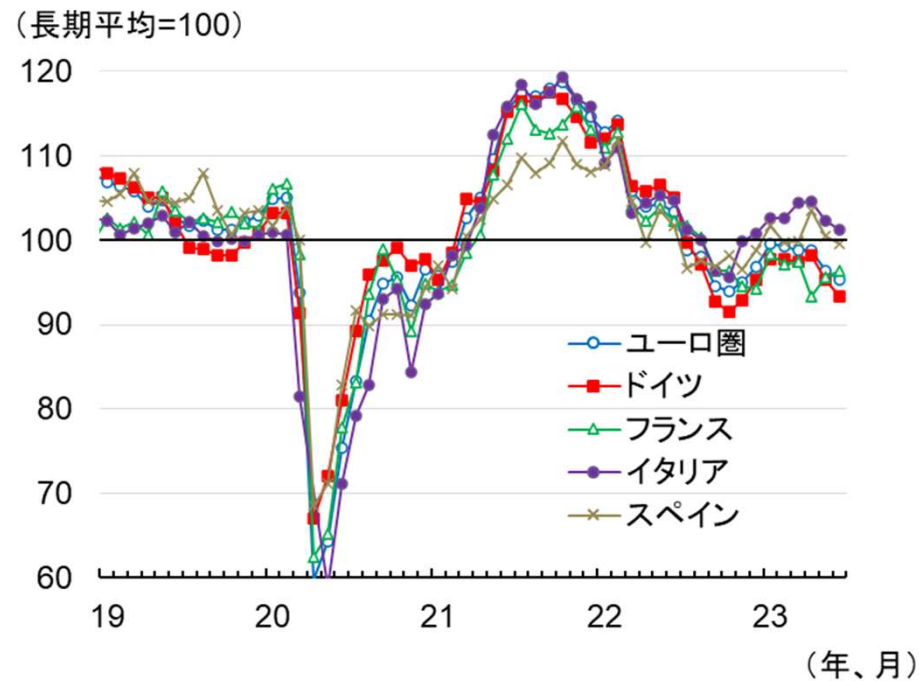
ユーロ圏の1-3月期の実質GDP(確報値)は前期比▲0.1%と2四半期連続で同じマイナス幅となり、景気は後退に陥った。一方で、景気の方角を示す景況感指数は、最新6月が95.3と2ヶ月連続で低下した。企業の景況感が、製造業・小売業、建設業と幅広い業種で悪化した。

実質GDP



(出所) 欧州連合統計局(ユーロスタット)

景況感指数

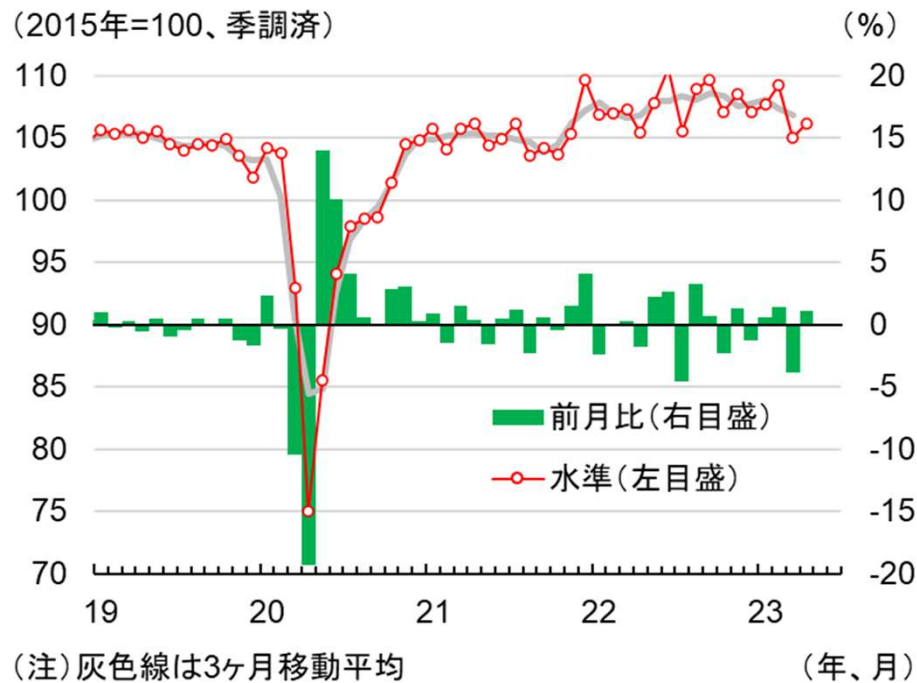


(出所) 欧州委員会ECFIN

ユーロ圏景気概況② 生産は減少

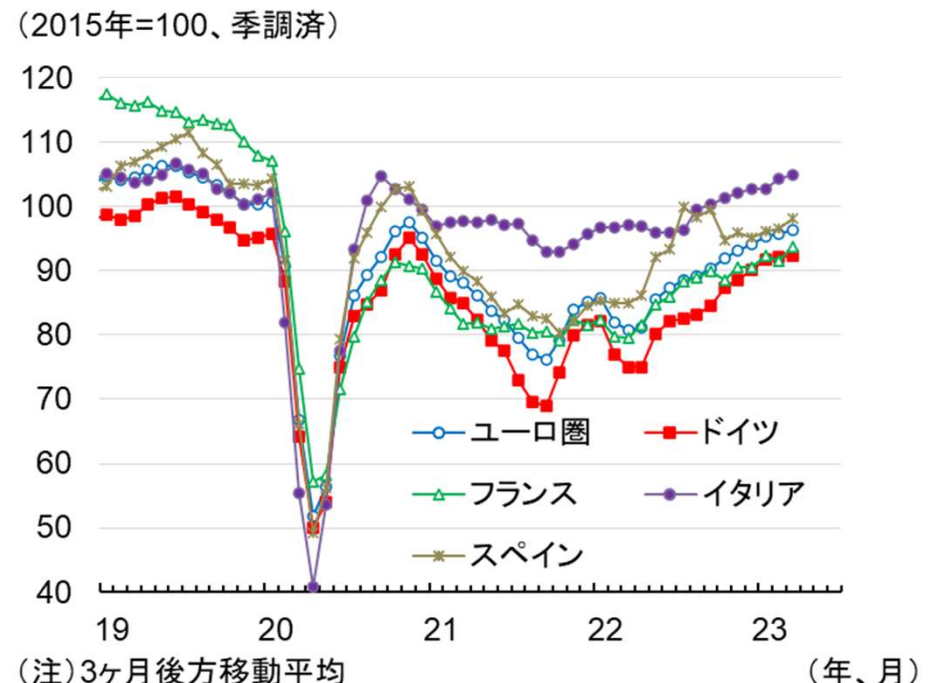
ユーロ圏の4月の鉱工業生産は前月比+1.0%と増加に転じたが、均した動きは下向き。また自動車の生産は、ドイツは頭打ちだが、ドイツ以外では各国とも緩やかな増加基調を維持した。

鉱工業生産



(注) 灰色線は3ヶ月移動平均
(出所) ユーロスタット

自動車生産台数(鉱工業生産ベース)

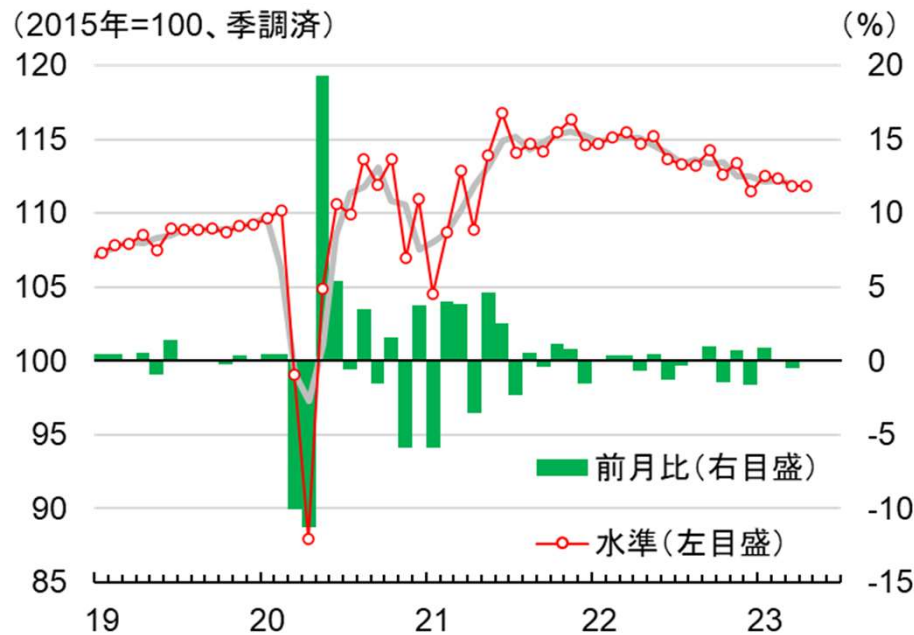


(注) 3ヶ月後方移動平均
(出所) ユーロスタット

ユーロ圏景気概況③ 消費は悪化

ユーロ圏の4月の小売数量は前月比横ばいとなり、均した動きも依然として下向き。一方で、翌5月の新車販売台数は前月比▲1.6%の年率852万台と3ヶ月連続で減少し、均した動きも下向き。ドイツで電動車の購入補助金が縮小されたことや金利高が進んだことなどで、市場の回復が一服した模様。

小売数量



(注) 灰色線は3ヶ月移動平均
(出所) ユーロスタット (年、月)

新車販売台数

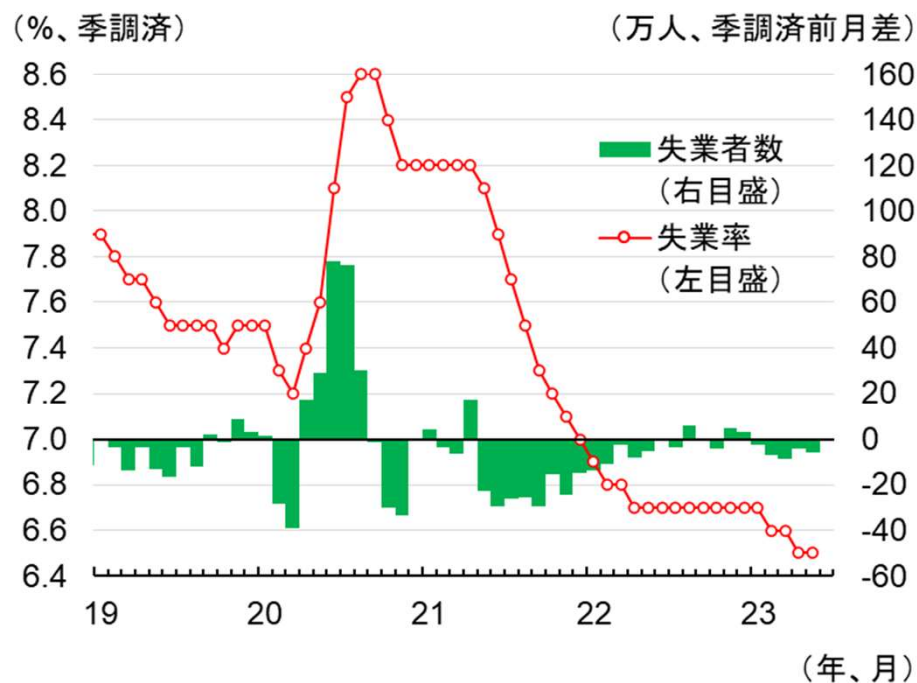


(注) 灰色線は3ヶ月移動平均
(出所) 欧州中央銀行(ECB) (年、月)

ユーロ圏景気概況④ 雇用は改善

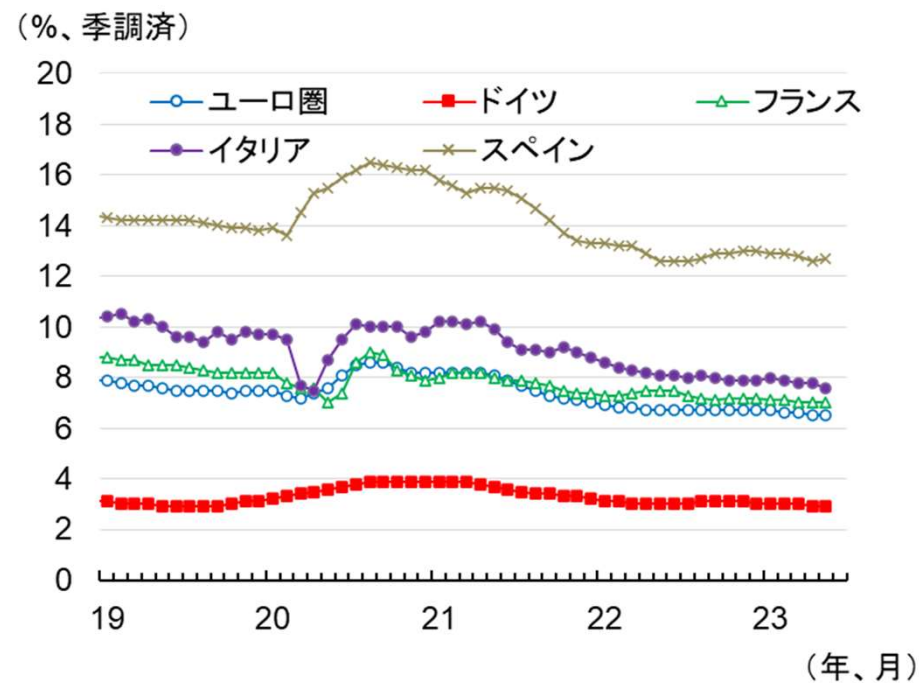
ユーロ圏の5月の失業率は6.5%と前月から横ばいとなった一方で、失業者数は前月比5.7万人減と改善ペースが加速したため、雇用は改善が進んだと判断。主要国別に失業率を見ると、各国ともわずかな低下か横ばいにとどまっている。

雇用統計



(出所)ユーロスタット

主要国別失業率

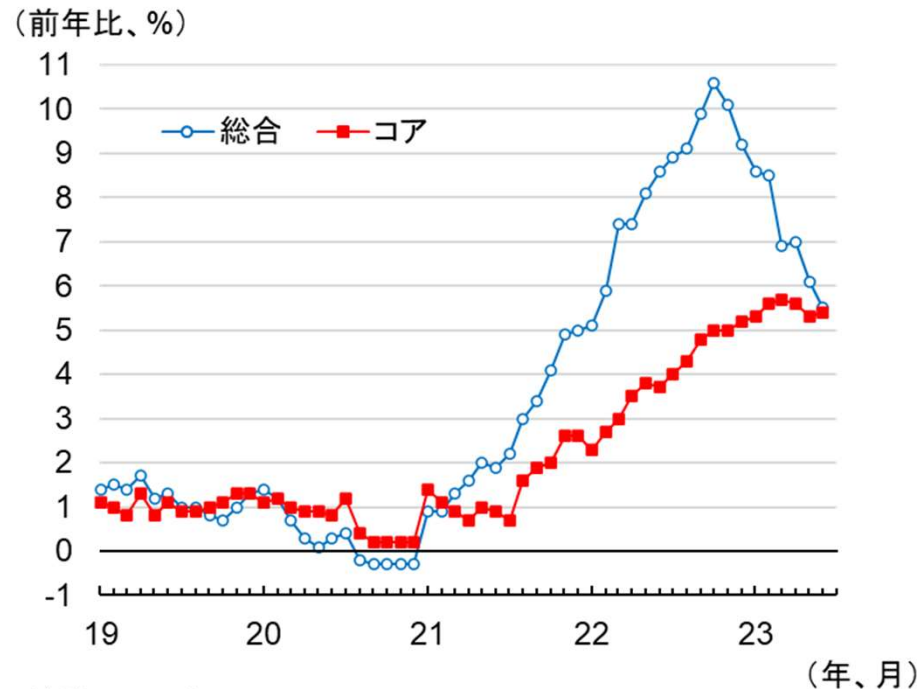


(出所)ユーロスタット

ユーロ圏景気概況⑤ インフレは鈍化

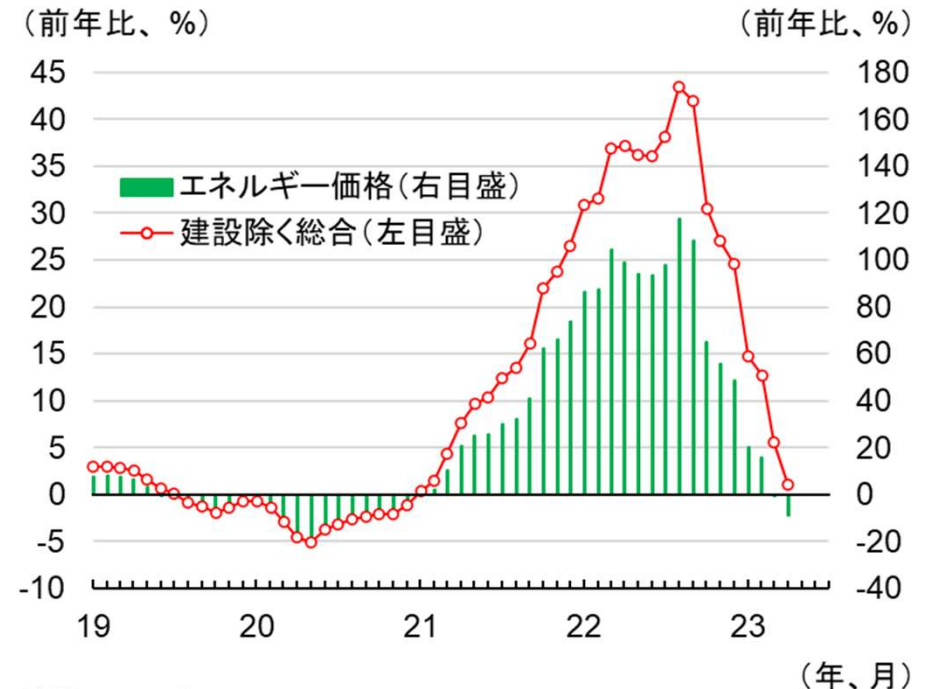
ユーロ圏の6月の消費者物価(速報値)は総合ベースで前年比+5.5%と、2ヶ月連続で伸びが鈍化。反面で、変動が激しい項目を除いたコアベースは同+5.4%と、伸びが高止まりした。一方で、生産者物価(建設除く総合)は4月時点で前年比+1.0%と、8ヶ月連続で上昇が減速した。うちエネルギー価格は同▲9.0%と、2ヶ月連続で前年割れとなった。

消費者物価



(出所)ユーロスタット

生産者物価

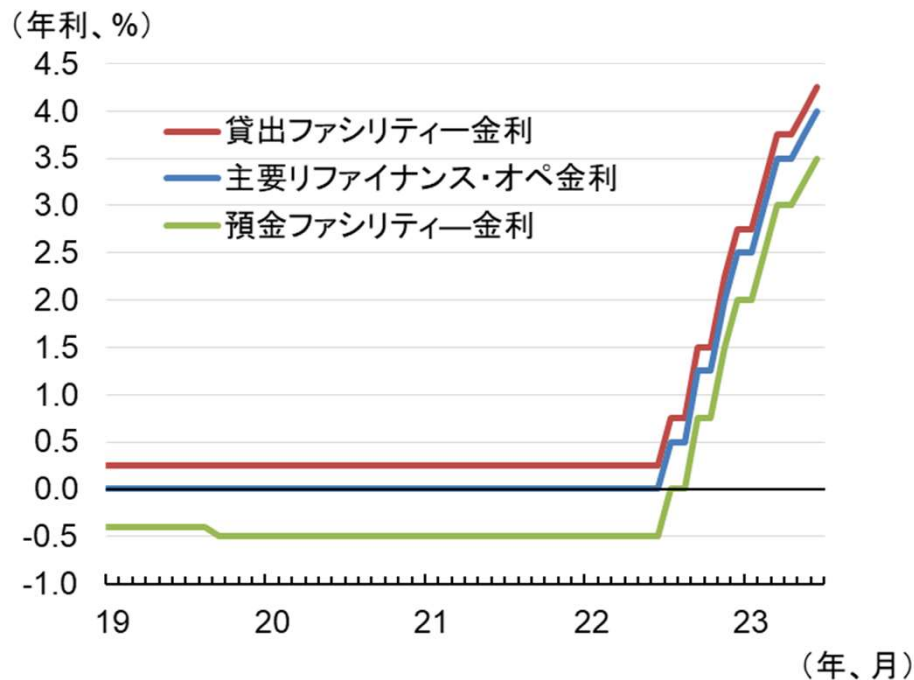


(出所)ユーロスタット

ユーロ圏景気概況⑥ ECBは6月理事会で追加利上げを実施

欧州中央銀行(ECB)は6月15日に定例の政策理事会を開催、政策金利をそれぞれ0.25%引き上げるとともに、7月27日の次回会合でも追加利上げを行う姿勢を示した。またECBは、資産購入プログラムの下で買い入れてきた金融資産の再投資を3月から6月まで部分的に削減したが、7月以降は再投資を停止し、金融引き締めを強化する。

ECBの政策金利



(出所) 欧州中央銀行(ECB)

6月理事会での決定内容の概要

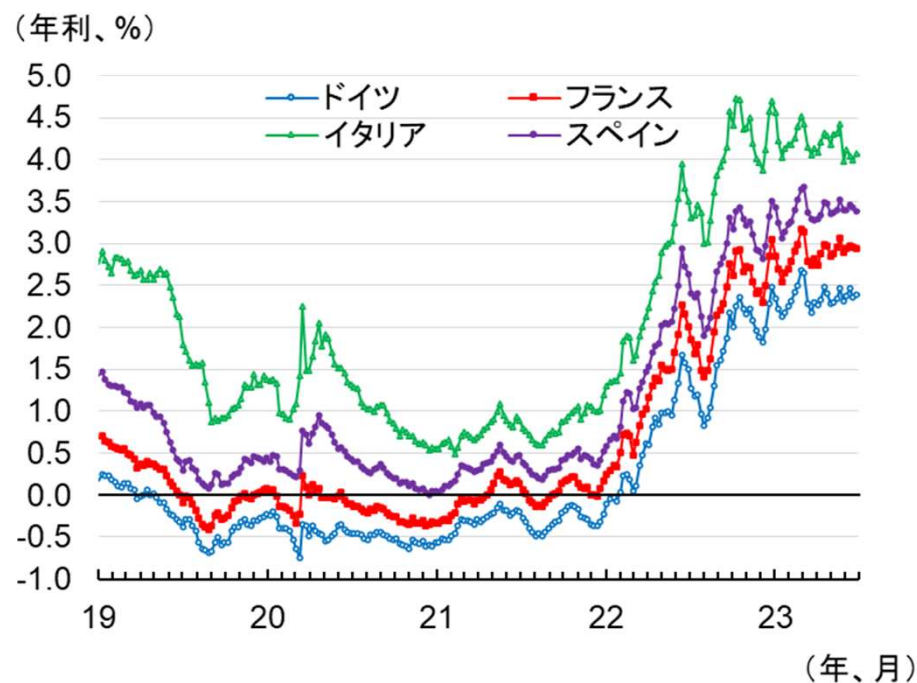
主な決定事項	内容
政策金利	<ul style="list-style-type: none"> ■各政策金利を0.25%ずつ引き上げ ・貸出ファシリティ金利 4.00%→4.25% ・主要リファイナンス・オペ金利 3.75%→4.00% ・預金ファシリティ金利 3.25%→3.50%
資産購入の再投資政策	<ul style="list-style-type: none"> ■資産購入プログラム(APP) ・3月から6月まで月150億ユーロのピッチで保有資産を削減 ・6月で再投資を終了 ■パンデミック緊急購入プログラム(PEPP) ・再投資は2024年末で終了 ・各国中銀の出資比率に応じた資産購入などを適用せず、柔軟な購入を行う
市場分断防止策(TPI)	<ul style="list-style-type: none"> ■TPIの適用条件 ・EUが定める財政ルールへの順守 ・健全なマクロ経済運営(過剰な経常赤字の是正など) ■TPIの具体的な手段 ・流通市場での国債購入、金額は無制限 ・購入対象資産は国債が中心、社債も視野、満期1~10年 ・状況が改善すれば終了 ・経済の基礎的条件に基づく金利上昇には適用せず

(出所) ECB

ユーロ圏景気概況⑦ 金利、株価とも上昇

6月のユーロ圏主要国の長期金利は上昇した。景気後退への懸念が長期金利を押し下げたが、欧州各国の中銀による利上げや米国の追加利上げ観測が金利を押し上げた。他方で、6月のユーロ圏の株価も上昇した。金融引き締め強化が株価の上値を抑えたが、中国による景気刺激策強化に対する期待などが株価を押し上げた。

長期金利



(出所) ECB

株価 (Eurostoxx50)



(出所) STOXX

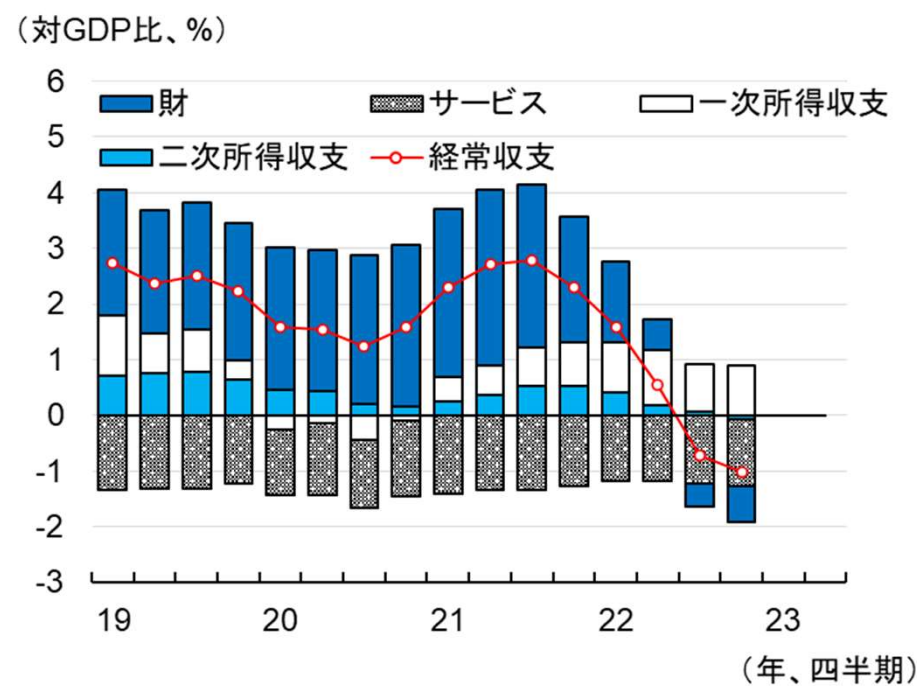
ユーロ圏景気概況⑧ ユーロは対ドル、対円で上昇

6月のユーロ相場は対ドル、対円で上昇した。欧州中銀(ECB)の利上げが7月以降も継続する見込みとなったことで、ユーロが全面高となった。一方で、経常収支は財収支の赤字幅が拡大しており、実需面からのユーロ買い圧力は弱まっている。

ユーロ相場



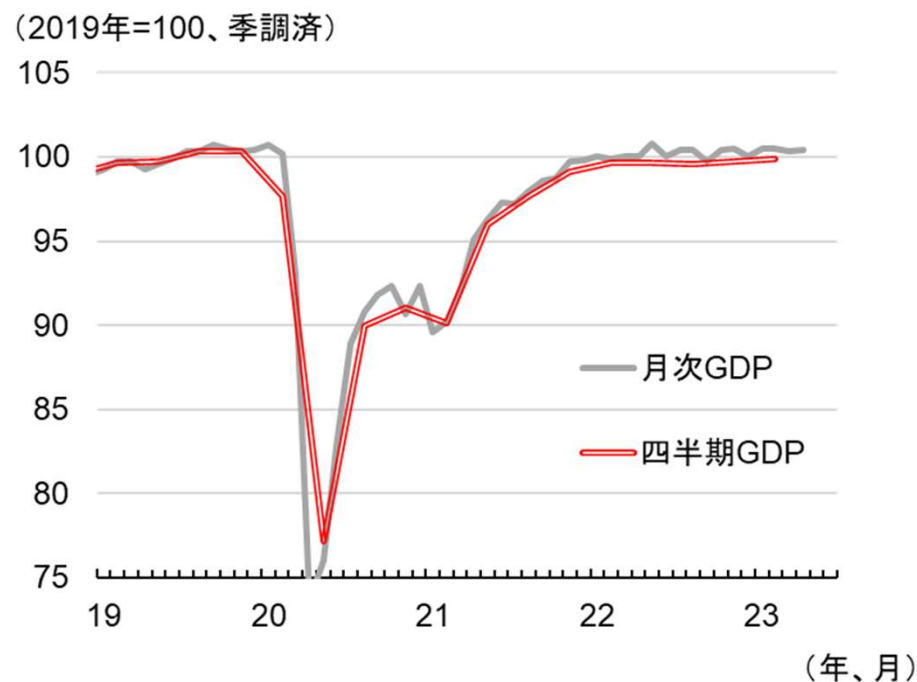
国際収支



英国景気概況① 景気は足踏みしている

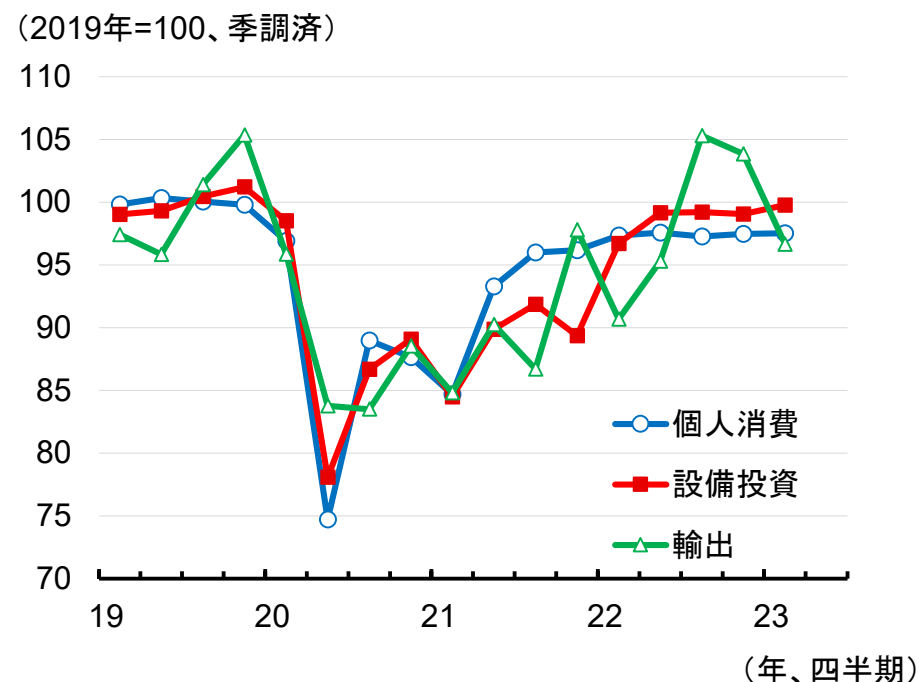
英国の1-3月期の実質GDP(確報値)は前期比+0.1%と2四半期連続で同じ伸び率となった。主要な需要項目の動きを確認すると、設備消費が増加して景気を下支えした一方で、個人消費が横ばいとなり、輸出が減少して景気を下押しした。一方、4月の月次実質GDPは前月比+0.1%となり、均した動きは足踏み。

実質GDP



(出所)英国立統計局(ONS)

主要な需要項目

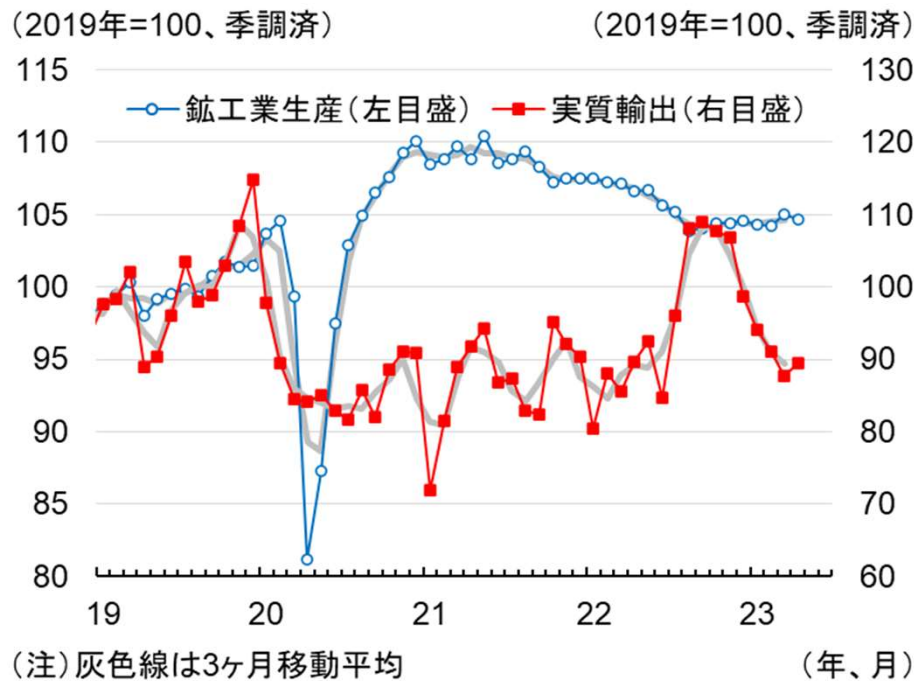


(出所)ONS

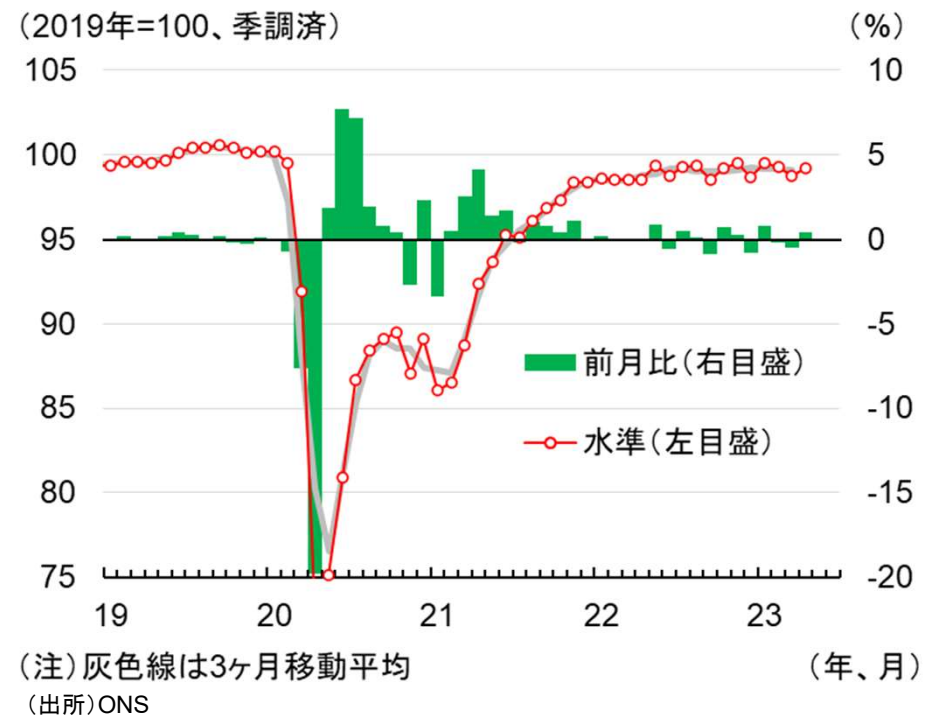
英国景気概況② 生産は足踏み

英国の4月の鉱工業生産は前月比▲0.3%と再び減少し、均した動きは横ばい。一方で、同月の実質輸出は同+2.0%と7ヶ月連続ぶりに増加したが、均した動きは依然として下向き。さらに、4月のサービス生産は前月比▲0.4%と3ヶ月ぶりに増加したが、均した動きは横ばい。

生産と輸出



サービス業生産



英国景気概況③ 消費は足踏み

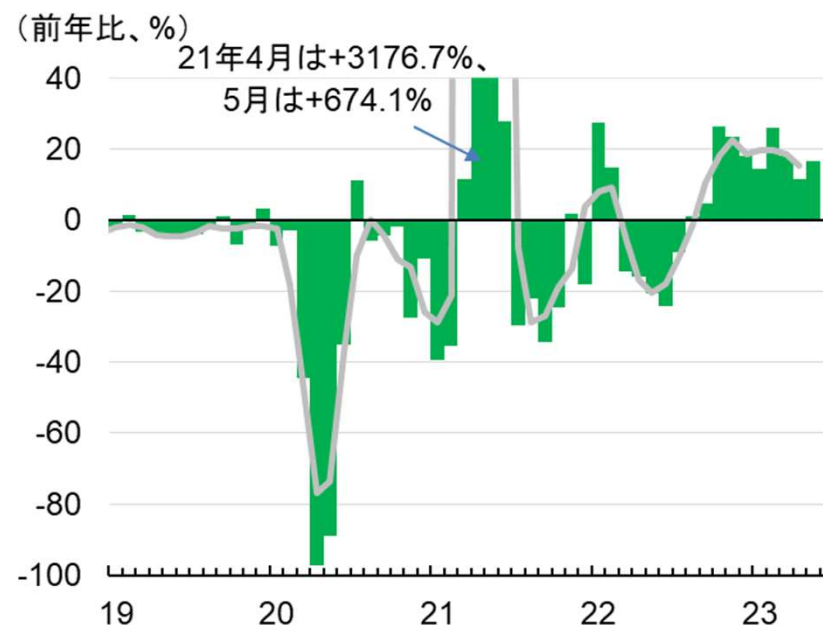
英国の5月の小売数量(除く石油)は前月比+0.1%と4月(同+0.8%)から増勢が鈍化し、均した動きは横ばい。一方で、同月の新車販売台数(乗用車)は前年比+16.7%と増勢が再び加速。均した動きは前年比2割増のピッチが定着し、市場規模は年間160万台レベル。

小売数量(除く石油)



(注) 灰色線は3ヶ月移動平均
(出所) ONS (年、月)

新車販売台数(乗用車)

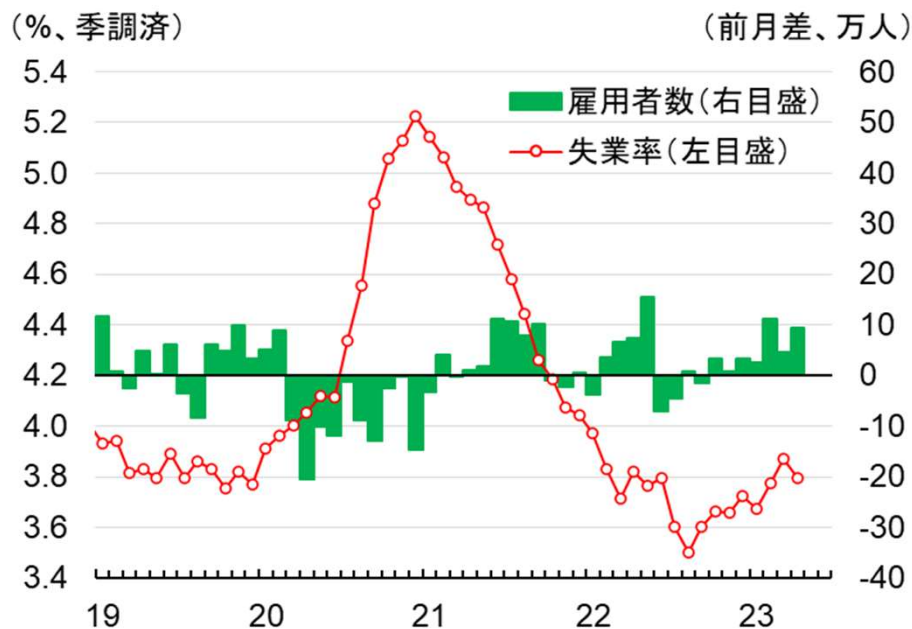


(注) 灰色線は3ヶ月移動平均
(出所) ONS (年、月)

英国景気概況④ 雇用は改善

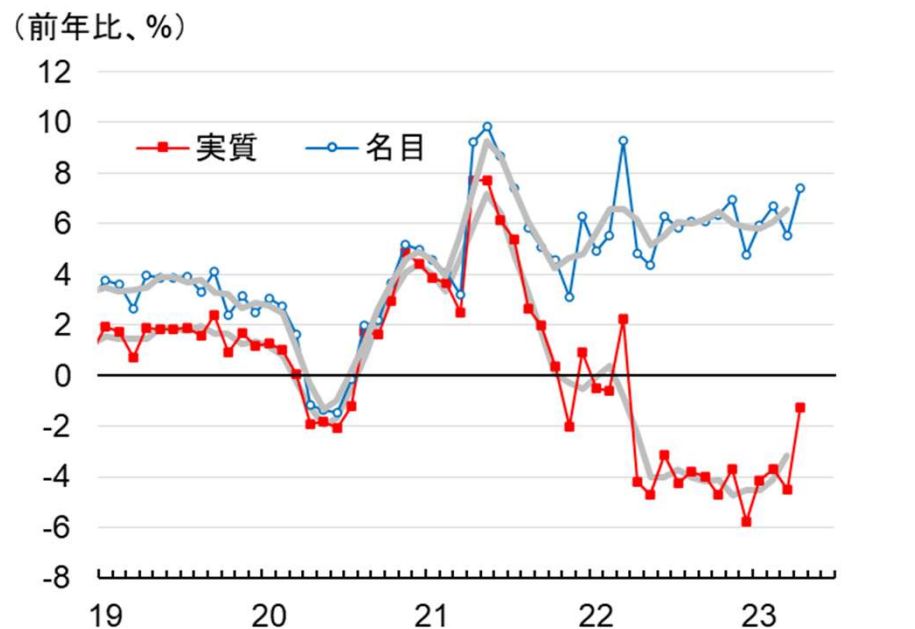
英国の4月の雇用統計(3ヶ月後方移動平均)では、失業率が3.8%と3ヶ月ぶりに低下し、また雇用者数が前月比9.4万人増と増加幅が拡大したことから、雇用は改善と判断。均した賃金の動きは名目ベースだと前年比6%前後のプラス幅が定着も、消費者物価で実質化した実質ベースでは依然として前年比3%ほどのマイナス幅である。

雇用統計



(注) 3ヶ月間の平均値 (年、月)
(出所) ONS

平均賃金(週給)

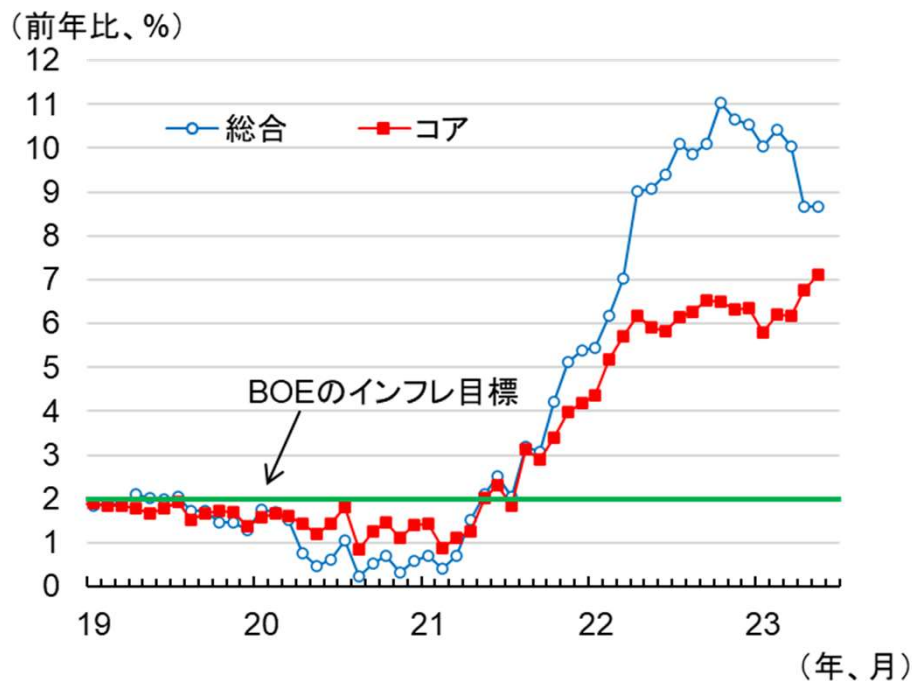


(注) 灰色線は3ヶ月移動平均 (年、月)
(出所) ONS

英国景気概況⑤ デイスインフレが停滞

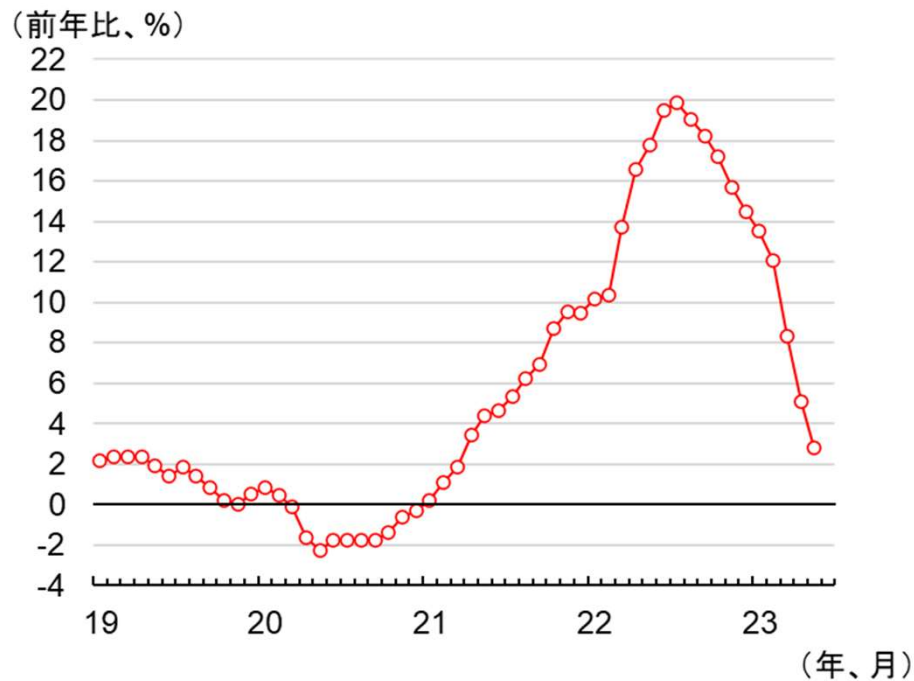
英国の5月の消費者物価は総合ベースで前年比+8.7%と2ヶ月連続で同じ伸びとなり、上昇率は依然として高い。また変動が激しい項目を除いたコアベースは同+7.1%と、伸びがさらに加速した。消費者物価の先行指標となる生産者物価は4月時点で同+2.8%と、10ヶ月連続で伸び率が低下した。

消費者物価



(出所)ONS

生産者物価(投入価格、除く関税)

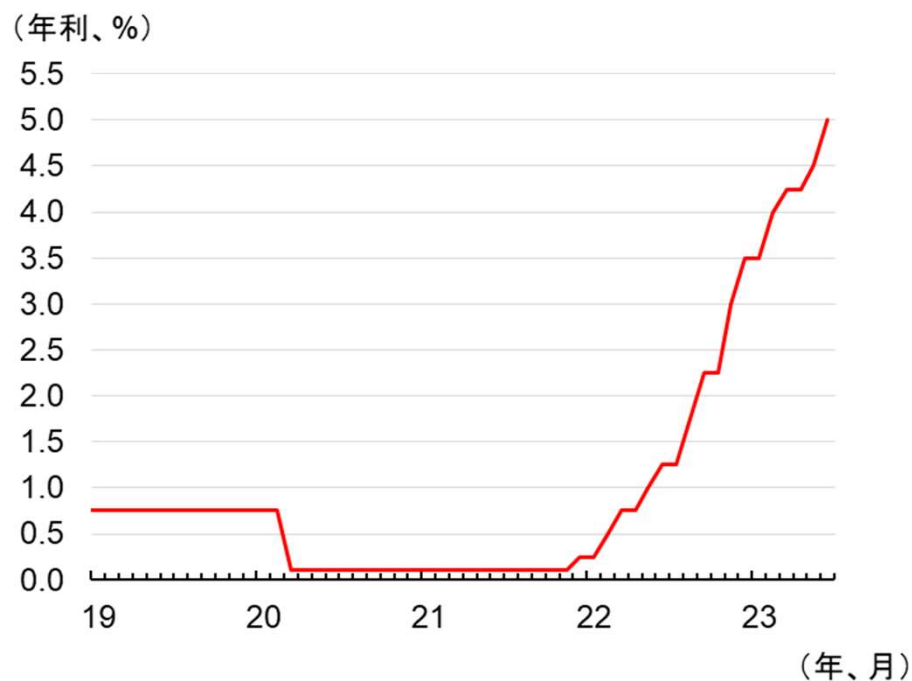


(出所)ONS

英国景気概況⑥ BOEは6月委員会で追加利上げを実施

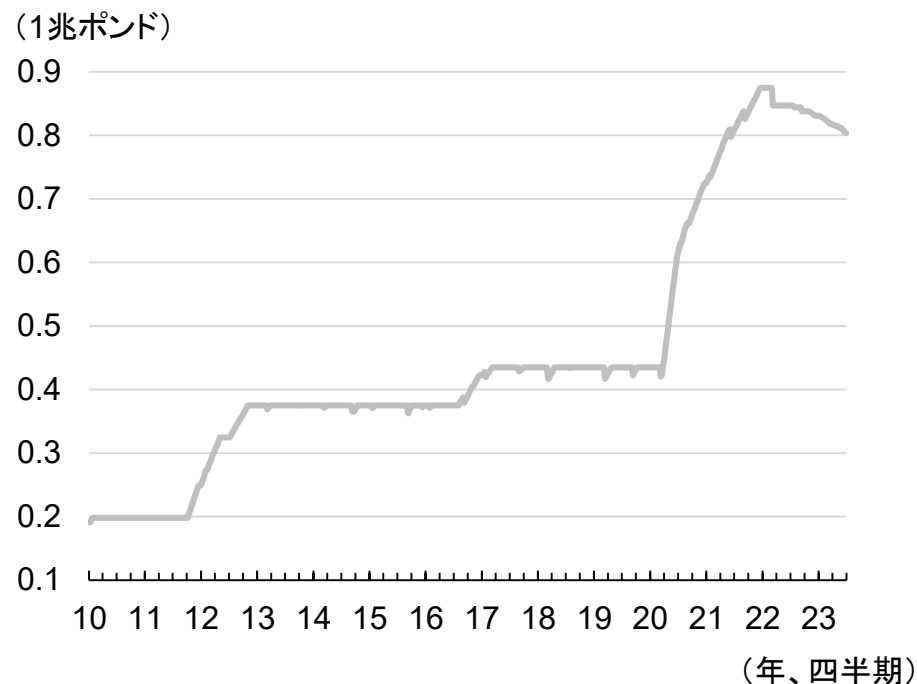
イングランド銀行(BOE)は6月22日に開催した金融政策委員会(MPC)で政策金利(バンクレート)を0.5%引き上げ、年5%とした。BOEはインフレの粘着性に鑑み、利上げ幅を再度拡大した。またBOEは2022年11月から保有国債の市中売却を開始しており、国債の保有高は徐々に減少している。次回MPCは8月3日に開催予定。

政策金利(バンクレート)



(出所)イングランド銀行(BOE)

英中銀の国債保有高



(出所)BOE

英国景気概況⑦ 金利は上昇、株価は下落

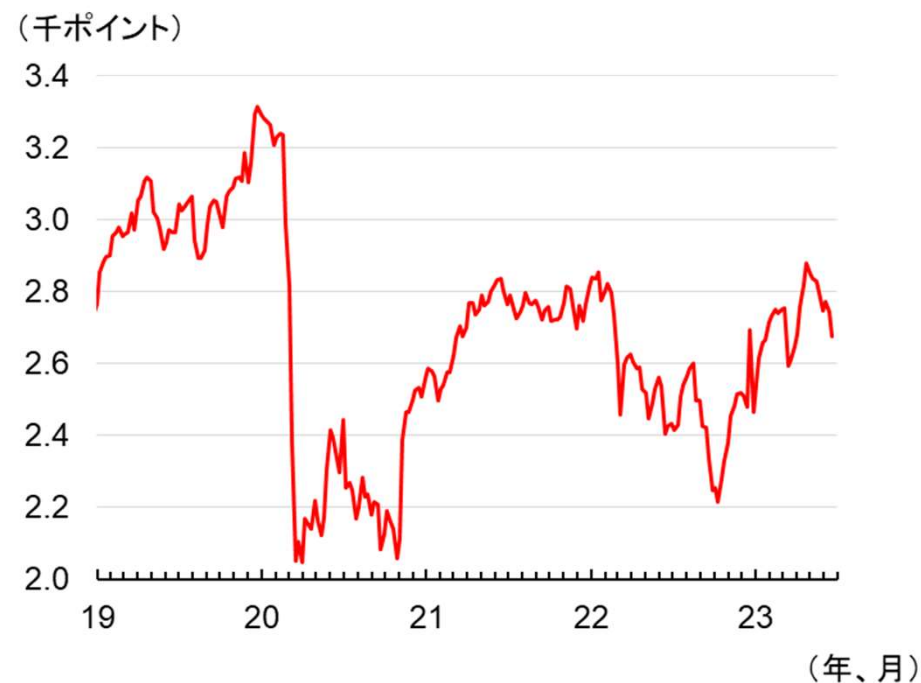
6月の英国の長期金利は上昇した。ディスインフレの停滞を受けて英中銀(BOE)が6月22日の会合で0.5%の大幅利上げを実施したことから、金利は上昇した。一方で、6月の英国の株価は下落した。BOEによる利上げや軟調な資源価格が株価を押し下げた。

金利



(出所)BOE

株価(FT30指数)



(出所)BOE

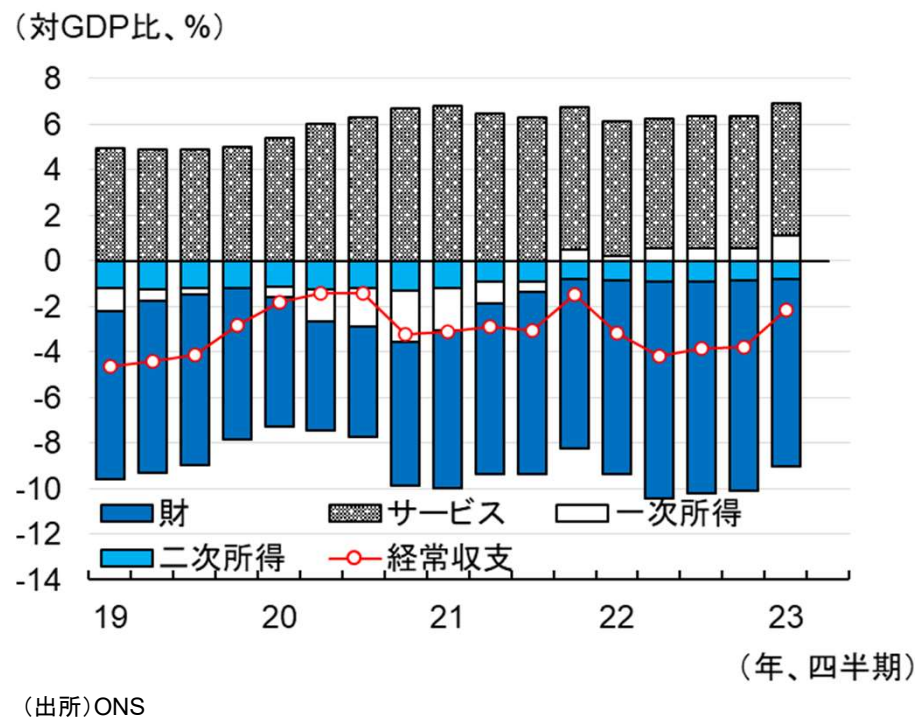
英国景気概況⑧ ポンドは対ドル、対円で上昇

6月のポンド相場は対ドル、対円で上昇した。ディスインフレの停滞を受けて英中銀(BOE)が大幅利上げを実施したことから、金利が上昇し、ポンド相場を押し上げた。しかし対ドルでは、月末にかけて英国最大の水道事業会社の国有化観測が浮上し、ポンド相場の上値をやや抑える展開となった。

ポンド相場



国際収支



ご利用に際してのご留意事項を記載していますので、ご参照ください。

(お問い合わせ)調査部 土田陽介 TEL:03-6733-1628 E-mail:chosa-report@murc.jp

〒105-8501

東京都港区虎ノ門5-11-2 オランダヒルズ森タワー

— ご利用に際して —

- 本資料は、執筆時点で信頼できるとされる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません
- また、本資料は、執筆者の見解に基づき作成されたものであり、当社の統一した見解を示すものではありません
- 本資料に基づくお客さまの決定、行為、およびその結果について、当社は一切の責任を負いません。ご利用にあたっては、お客さまご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます
- 本資料は、著作物であり、著作権法に基づき保護されています。著作権法の定めに従い、引用する際は、必ず出所:三菱UFJリサーチ&コンサルティングと明記してください
- 本資料の全文または一部を転載・複製する際は著作権者の許諾が必要です。当社までご連絡ください